

令和6年 西脇知事と行き活きトーク 主なご意見と京都府の対応

回	日程	場所	市町村	テーマ
89	1月16日	京都ブライトンホテル	京都市	これからの地球温暖化対策について
90	1月29日	宗円交遊庵やんたん	宇治田原町	宇治田原の魅力を活かした地域活性化について
91	2月7日	体験plaza	南山城村	南山城の魅力を活かした地域活性化について
92	2月12日	テオテラスいで	井手町	「テオテラスいで」を核とした地域活性化について
93	3月5日	リカレント研修センター	京都市	大学生の府内企業への就職促進に向けて
94	3月23日	天橋立ホテル北野屋	宮津市	丹後の文化と地域活性化について
95	4月13日	今熊野商店街（みらくまの）	京都市	子育て世代が住みやすい街づくりについて
96	5月11日	けいはんなプラザ	精華町	道路美化や万博に向けた活動について
97	5月29日	笠置寺・笠置キャンプ場	笠置町	笠置の魅力を活かした地域活性化について
98	6月26日	花山児童館	京都市	安心・安全な地域づくりに向けた取組について
99	7月26日	豊里コミュニティセンター	綾部市	京都府の農業を未来につなぐ取組について
100	8月6日	京都府立植物園	京都市	京都府立植物園の次の100年に向けて
101	8月12日	広小路パーキング	福知山市	子どもの「理想のまち」と大人が「子育てしやすい社会」について
102	8月25日	京都産業会館	京都市	社会の変化に対応できる人づくり
103	9月4日	みんなのき三室戸こども園	宇治市	子育てしやすい環境づくりについて
104	9月29日	JA京都久美浜梨選果場	京丹後市	丹後フルーツの魅力発信と産地の活性化について
105	10月14日	京丹波町役場	京丹波町	地域で広がる音楽文化について
106	11月10日	城陽五里五里の丘	城陽市	食による地域活性化について
107	11月23日	学校法人大和学園	京都市	婚活に積極的に取り組める社会に向けて
108	11月23日	あやべ・日東精工アリーナ	綾部市	お茶による地域活性化について
109	12月1日	日図デザイン美術館	京都市	障害者芸術の振興について
110	12月7日	西駅交流センター	舞鶴市	宮津線の次の100年に向けて

回	日時	場所	テーマ
89	1月16日	京都ブライトンホテル 京都市	これからの地球温暖化対策について

参加者の主なご意見
○京都丹後市内には、天ぷら油をバイオ燃料にリサイクルする工場もできた。作ったバイオ燃料を地域でどういう風に使っていただくかというのが次の課題の一つ。 ○再生エネルギーの課題は初期費用。太陽光や風力など設備に係る費用は下がっているが、初期投資がないと導入に躊躇してしまうため、なかなか増えない。 ○太陽光やE Vなどについては、様々な誤った情報が出ており、行政の立場、あるいは、地球温暖化防止センターなどから適切な情報発信をお願いしたい。 ○小中学校のうちから課外活動を単位認定してほしい。例えば、学外活動のために学校を休んでも休みとせず、認めていただくような仕組みづくりをお願いしたい。 ○家庭で太陽光発電した電気で、昼間に余った電気を買ってくれるところがない。例えば、地域の小学校に届けるといった仕組みを作ることができれば、家庭での太陽光発電を普及できると思うので、仕組みづくりを一緒に考えたい。 ○人はすごく重要であり、京都は大学などの教育機関が多く、脱炭素に関する教育を仕事につなげていくようなルートができれば良い。

京都府の対応・施策反映状況
【府民の脱炭素行動促進】 ・府民の脱炭素行動を促進するため、ZEH住宅の建築等や太陽光発電設備等の導入に対する支援や、再エネ導入等を相談できる体制や情報発信等を実施してまいりたい。 ・また、府内の地球温暖化対策に尽力する地球温暖化防止活動推進員への支援を継続的に実施してまいりたい。 (参考) 京都府の関連予算 ■令和7年度当初予算 ○再生可能エネルギー導入加速化事業（750,000千円）【継続】 ○家庭向け再エネ導入促進事業（198,500千円）【継続】 ○マンション共用部再エネ等促進事業（4,000千円）【継続】 ○地球温暖化防止府民活動推進事業（一般活動費内数 16,000千円）【継続】 ○再エネ導入利活用増大事業（10,000千円）【継続】 ■令和6年度2月補正予算 ○住宅脱炭素化促進事業（20,000千円）【継続】

回	日時	場所	テーマ
90	1月29日	宗門交遊庵やんたん	宇治田原の魅力を活かした地域活性化について
		宇治田原町	

参加者の主なご意見
○今後、空き家対策が非常に重要になっていくと考えており、うまく活用して住民として新しい人に来ていただくことが、宇治田原町のこれからの発展につながっていくのではないかなと思う。 ○体験的に宇治田原町に移住できるよう、「空き家×賃貸」というように、気軽に住むことができる環境があると良い。 ○お茶の時期には何かと人手が必要になり、その際お手伝いしてもらえる人がいると助かる。 ○コロナ前までは、専業主婦でも保育所に子どもを預けている間にお茶摘みの手伝いをされていたお母さんもいた。このように専業主婦のお母さんに光を当て、うまく活用していくことで、宇治田原町の良いものを受け継いでいければと思う。 ○子育て世代に喜んで住んでもらうために、宇治田原町に来てよかったなと感じてもらえるように地域づくりすることが求められていると思う。

京都府の対応・施策反映状況
【人材確保】 ■ <u>農林水産業労働力確保対策事業（9,000千円）R6補正【継続】</u> ・農山漁村の高齢化や人口減少が進む中、繁忙期における労働力の確保や環境整備を支援してまいります。 ○ 障害者や高齢者、子育て世代のお試し雇用や作業委託に係る取組 ○ 障害者等の受入のための環境改善 ■ <u>農林水産業ボランティア事業（2,000千円）R7当初【継続】</u> ・多様な担い手を確保する為の誘導段階として、農作業ボランティアを募集、派遣し、繁忙期の労働力確保を支援してまいります。 【移住関連】 ■ <u>やましろ移住等加速化事業（2,400千円）R7当初【継続】</u> ・大阪市で移住イベント「京都やましろフェア」を開催。移住・定住情報、観光情報等のPRを実施するほか、特産品の紹介や販売、管内市町村の理解を深めるクイズラリー、クイズラリー参加者の抽選会等を実施し、宇治田原町を含む山城地域の魅力をPR。 ■ <u>「移住するなら京都」推進事業費（295,073千円）R7当初【継続(一部新規)】</u> ・移住促進条例に基づき、多様なニーズを有する移住検討者に対して、移住・定住に至るまでの各段階に応じた支援策を提供し、移住施策と連携した地域活性化を推進。 （事業内容） ○移住者の住まいの確保支援（107,000千円） 移住促進特別区域の充実とともに、区域内の登録空家に居住するための改修支援等により、様々なニーズに対応した移住者受入を促進。 ○移住検討者に対する情報発信（56,600千円） 京都府の各地域に興味を持つきっかけとなる情報を積極的に発信し、府内外の移住検討者に対する京都府の周知度アップを実現。 ○移住定住へのフォローアップ（24,400千円） 地域の特性に応じて移住者の受入体制整備を行うとともに、交流促進や仕事づくり等をテーマとした市町村によるまちづくりの取組を支援することで、移住者の地域への定住を促進。 ○移住者の仕事の確保支援（107,073千円） 農山漁村地域での起業支援、U I J ターンコーナーの設置等による移住者の仕事の確保支援とともに、移住者や関係人口のニーズの多様化に対応した仕事づくり、交流による地域への定着を促進。

回	日時	場所	テーマ
91	2月7日	体験plaza	南山城の魅力を活かした地域活性化について
		南山城村	

参加者の主なご意見
○燃料や肥料の高騰により、お茶を生産している農家は経営を圧迫している。さらに、担い手不足も課題となっている。
○古民家を拠点に、お茶摘みや農家の食を体験できる機会を提供し、地域文化を楽しむことができる企画を考えており、補助金や京都府のファンド、さらにはクラウドファンディングなどで実現したい。
○獣害や山の手入れができていないことから、原木シイタケを生産する際の原木の確保が難しくなっている。
○シイタケの場合は農業ではなく林業に該当するため、農業関係の無利子の融資や寄付金がない。他県ではシイタケもそれに相当するような補助金を創設されており、そういった支援をお願いしたい。
○地域の魅力を伝える人材育成に対する支援を行政や民間も含めてサポートしてほしい。

京都府の対応・施策反映状況
【地域振興】 ■相楽東部未来づくり推進費（3,000千円）R7当初【継続】 ・相楽東部未来づくりセンターを核に、地域団体やお茶の京都DMO等と連携しながら、ホテルや工場、施設の誘致、自然を生かしたアクティビティ事業等を実施。 ・なお、令和6年度は、より多くの方々に当該エリアを知ってもらえるよう、『京都南部原風景フォトガイド』を新たに作成。
【地域づくり京ファンドの取組】 ・古民家や空き公共施設等の地域資源をリノベーションして活用する等の持続可能な地域づくりの推進のため、3つのDMOや府内金融機関等が連携し、令和3年3月に「地域づくり京ファンド」を創設し、地域活性化に資する事業に対して投資を実施。
【お茶の京都DMOによる人材育成に対する支援】 ■「お茶の京都」DMO推進事業（57,751千円）R7当初【継続】 ・お茶の京都地域のインバウンド受入事業者への支援として多言語観光ガイドの講座開催や、講座受講者を紹介する「お茶の京都ガイド制度」を稼働する予定。また、引き続きスキルアップを図るための人材育成講座を実施。
【燃油高騰】 ・茶業における燃油高騰に対しては、国の茶セーフティネット構築事業を活用するように促すとともに、事務的支援を実施してまいります。
【農業の担い手育成】 ・農業大学の茶業経営コースや担い手養成実践農場の展開に加え、令和元年に設立した宇治茶実践型学舎により、新たな担い手確保と育成を実施してまいります。
【しいたけ生産振興】 ■豊かな森の恵み創造事業（5,000千円）R7当初【継続】 ・しいたけ等の特用林産物の生産振興による地域林業の活性化を図るため、生産基盤（原木林の造成）や生産施設の整備を支援してまいります。

回	日時	場所	テーマ
92	2月12日	テオテラスいで 井手町	「テオテラスいで」を核とした地域活性化について

参加者の主なご意見
○「テオテラスいで」は府南部エリアの様々なところから品物が来ており、久御山町や城陽市のお酒も置かせて頂いて、南部エリアの商売としても良い拠点になっている。 ○京都市内から外れたこういった場所を知って頂くことで、井手町という町を認識し、井手に引っ越してきてもらうというか、移住して頂くようなそこまでの流れを作る必要があると思う。 ○子ども達が学びを深められる場があったらいいなと思います。井手町は子育ての補助も手厚いと聞いており、そういったところを押し出していけば、さらに若い力が集まるのではないかと思います。 ○新名神高速道路の早期開通をお願いしたい。また、みんなが儲かる仕組みを何とか早く作って頂けたらと思っています。

京都府の対応・施策反映状況
【「食」を目的とした観光誘客】 ■「食の京都」推進事業（40,000千円）R7当初【継続】 ・引き続き、地域の情報発信と交流の拠点となる農林水産物直売所や道の駅を「食の京都TABLE」として選定し、施設の整備支援や魅力発信を実施してまいります。 【移住関連】 ■やましろ移住等加速化事業（2,400千円）R7当初【継続】 ・大阪市で移住イベント「京都やましろフェア」を開催。移住・定住情報、観光情報等のPRを実施するほか、特産品の紹介や販売、管内市町村の理解を深めるクイズラリー、クイズラリー参加者の抽選会等を実施し、宇治田原町を含む山城地域の魅力をPR。 【テオテラスいでの魅力発信】 ■「お茶の京都」DMO推進事業（57,751千円）R7当初【継続】 ・お茶の京都DMOでは、テオテラスいでを拠点に、「家康伊賀越えの道 歴史ウォーキングツアー」（R5）や、「京都山城 初瀬詣の足跡をたどるスタンプラリー」（R6）、「平安旅装束散歩体験」（R6）といった観光コンテンツを造成してきた。 ・また、ラジオやテレビ、SNSを通じて、井手町の魅力、京都府南部エリアの歴史や自然の魅力を発信しているところ。

回	日時	場所	テーマ
93	3月5日	リカレント研修センター 京都市	大学生の府内企業への就職促進に向けて

参加者の主なご意見
○京都府の企業はアットホームな雰囲気があり、多くの学生に知って欲しい。例えば、大学の授業の一環や文化祭などに企業を招いて交流を行うなどして機会を作る必要がある。 ○京都に就職する学生を増やすためには、実際に働いている方から「京都で働く」「京都で生活する」ということを伺うなど、生活面にアプローチすることも重要だと思う。 ○企業が一方的に説明する企業説明会ではなく、一対一で話す座談会のような新しい形態があれば良いと思う。

京都府の対応・施策反映状況
就職支援協定締結大学と連携し、学生生活の早い時期から「働くこと」や「京都企業」への理解を促進するため、子育てにやさしい職場づくり実践企業での職場体験やリクルートフェアの開催等により、学生の京都企業への就職と職場定着を支援してまいります。 ■学生就職・定着応援事業費（89,670千円）R7当初【継続】 ○学生生活の早い時期からの「京都企業」への理解促進 ・子育てにやさしい職場づくり実践企業における中長期・有給の職場体験（就職トライアル）を促進。 ・理系学生の京都産業や企業への理解を深める交流座談会や職場体験を推進。 ・大規模インターンフェア「就活準備フェア」や大学との連携による京都産業学セミナー等を開催。 ・学生参加型でのイベント広報の企画など、若者を呼び込む仕掛けづくりを実施。 ○就活期の学生と京都企業とのマッチング支援 ・大規模合同企業説明会「京都ジョブ博」や大学との連携によるリクルートフェア等を開催。

回	日時	場所	テーマ
94	3月23日	天橋立ホテル北野屋 宮津市	丹後の文化と地域活性化について

参加者の主なご意見
○京都市内にいながら、伊根の料理を食べて「伊根に行きたい」と思ってもらえるような「ガストロツーリズム」を目指しており、伊根だけでなく府北部地域に足を運んでもらえる循環を作っていきたい。 ○様々な取り組みが行われているが発信が不十分。各取り組みが連携することで発信力も向上するため、行政と一緒に考えていきたい。 ○リニューアルされる丹後郷土資料館では、ワークショップや体験を通じて丹後地域について学ぶことができる施設になってほしい。さらに、食文化や織物、宿泊施設についても案内できるような場所となしてほしい。 ○資料館そのもののリニューアルだけでなく、「資料館はこういう所」という固定観念をなくすことも重要。また、観光の知識が得られるような観光の出入口としての機能も果たす必要がある。

京都府の対応・施策反映状況
【丹後郷土資料館リニューアルに向けた機運醸成】 ■丹後郷土資料館整備推進費（3,198,000千円の一部）R7当初【継続】 ・令和6年度には、丹後国分寺跡及び旧永島家住宅（府指定文化財）において、丹後の郷土料理「丹後ばら寿司」の製作体験、当館が所蔵する舟や仏像に関するワークショップ、国分寺五重塔からの眺めを疑似体験できる熱気球搭乗体験など丹後地域を体感できる取組を実施した。この取組では、民間企業と連携し地元在住の芸人を招致した他、キッチンカーの出店など地域の人々と文化を通じて交流する機運醸成イベントを民間企業と連携し実施した。 ・令和7年度においてもリニューアル工事中ながら丹後地域の歴史・文化の魅力を感じるワークショップ等の取組を推進してまいりたい。 ・リニューアルする丹後郷土資料館では、丹後の食文化や伝統産業などの魅力発信はもちろん、様々な人々と文化をつなぎ、交流と創造を育む「ハブ・ミュージアム」を目指し取組を推進してまいりたい。 【文化観光】 ■丹後の文化を活かした観光誘客推進事業（2,400千円）R7当初【継続】 ○丹後の文化資源等を紹介する宣材資料の作成 旅行会社等による丹後の文化資源を生かした旅行商品の開発を促すため、管内市町や海の京都DMOと連携して宣材資料を作成。 ○旅行会社等を対象にしたファムツアーの実施 丹後地域の史跡や丹後ちりめんのスポットをめぐるファムツアーを実施。 ○文化観光に係る情報共有の機会創出 丹後郷土資料館と管内市町が連携した取組の強化や文化観光の推進に向け、丹後郷土資料館、DMO管内市町との情報共有会を開催。

回	日時	場所	テーマ
95	4月13日	今熊野商店街（みらくまの） 京都市	子育て世代が住みやすい街づくりについて

参加者の主なご意見
○商店街の構成メンバーも高齢になっており、SNSが苦手な方が多いことから、専門家派遣の一つの部門にSNS部門を設けて、商店街を元気にする支援をしてほしい。 ○商店街には子どもが買い物に行く店が少ないため、子どもが行きやすいお店が増えて欲しい。 ○おむつ交換などができるキッズフレンドリー施設が増えて欲しいし、旗などの目印があるとうれしい。 ○子育て世代を受け入れる寛容な心が広まってほしい。

京都府の対応・施策反映状況
■キッズフレンドリー施設及びWEラブ赤ちゃんプロジェクトの推進 <u>（子どもを育む文化創造事業費 4,800千円／子育ての楽しさ広げる事業費（「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」子ども”ええ顔”発信事業） 16,000千円）</u> ・令和6年度、三条商店街でキッズフレンドリー施設をめぐる商店街まち歩きイベントを実施し、20を超える店舗に、新たに登録をいただいた。 ・令和7年度も引き続き、商店街や大型商業施設など、子育て世帯が多く利用される施設にキッズフレンドリー施設の登録を働きかけるとともに、「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」の展開等、子育て世帯が安心して外出できるよう、取組をすすめてまいります。
■子育ての楽しさ広げる事業費（京都版ミニ・ミュンヘンの取組拡充） <u>（21,000千円 ※うち一部） R7当初【拡充】</u> ・子どもと若者の交流機会を創出し、若い世代の子ども・子育てに対するポジティブなイメージの拡大を目的に、「京都版ミニ・ミュンヘン」を開催してまいりたい。
■子育てにやさしいまちづくり推進交付金（62,000千円） R7当初【継続】 ・「まち全体で子どもを見守り支える」まちづくりを進めるため、市町村がエリア内で策定する「子育てにやさしいまちづくり推進計画」をハード・ソフト一体で支援してまいりたい。
■商店街に関わる人材育成交流促進事業（19,230千円） R7当初【継続】 ・引き続き、商店街が行う人材育成に資する事業を支援しており、SNS活用等情報発信に関わる勉強会も対象としています。
■地域課題解決コミュニティ活性化事業（21,000千円） R7当初【継続】 ・子育てにあたたかい気運を商店街から醸成し、子ども連れでの来街促進につながるよう、おむつ替えベビーベッドの設置等、子育てにやさしい店舗づくりを支援してまいります。

回	日時	場所	テーマ
96	5月11日	けいはんなプラザ 精華町	道路美化や万博に向けた活動について

参加者の主なご意見
○さわやかロードは昔、水が流れており、地域住民の憩いの場となっていたが、現在は枯れている。もう一度あの場所に水を流してほしい。 ○学生が精華町の企業を訪問した際「ここで働きたい」と思うような場所であり続けるため、自社前の道路清掃を行っており、今後も自分たちの手でこの環境を維持していきたい。 ○けいはんな万博では、子どもからシニアまで参加できるイベントも企画していく。地元自治体には広報紙での情報発信などの面から協力してほしい。また、みんながワクワク感を持てるような盛り上げ方が必要。 ○精華大通りを仮装したロボットが行進するような催しをスタートに、ロボット・アバターを一つの売りとして、けいはんな万博を盛り上げていきたい。

京都府の対応・施策反映状況
【道路美化活動】 ■<u>さわやかボランティア・ロード事業に対する支援</u> ・平成14年から20年以上にわたり、「さわやかボランティアロード事業」として、身近な道路の環境美化活動を通じた地域づくりを地元のボランティアの皆様の協力を得ながら進めています。 ・今回取り上げた生駒精華線の周辺においても、他のいくつかの団体が本事業に参画しており、府域全体では、令和6年9月時点で、19市町延べ160kmの区間において115団体3,325人に参画いただいているところ。 ・今後さらに多くの団体に加入いただけるよう、引き続き、HPやラジオを使った広報などを推進し、こうした美化活動を通じて地域の活性化や絆づくりにも寄与してまいります。 【けいはんな万博】 ■<u>「けいはんな万博2025」開催事業費（200,000千円）R7当初【新規】</u> ・けいはんな学研都市のポテンシャルを最大限に発揮した様々なコンテンツを披露し、高い研究開発力と豊かな歴史文化資源を世界に向けて発信します。 ・アバターチャレンジをはじめ訴求力のあるイベントを実施するなど、より多くの方にけいはんな学研都市にお越しいただけるよう取り組みます。

回	日時	場所	テーマ
97	5月29日	笠置寺・笠置キャンプ場 笠置町	笠置の魅力を活かした地域活性化について

参加者の主なご意見
○笠置町の自然を活かし、外から来た人に良さを知ってもらうことが、地元住民の励みにもなり、地域の魅力を再確認することにつながる。 ○アクティビティの強化やジビエの普及は、笠置町単体で考えるのではなく、東部3町村（南山城村、和束町、笠置町）が連携して取り組んでいきたい。 ○私たちの会社で働きたいと言ってくれる方がいる一方、笠置町で住む場所がなかなか見つからない。空き家整備を進めることで、笠置町で生活する方も増えるのではないかな。

京都府の対応・施策反映状況
【地域振興】 ■相楽東部未来づくり推進費（3,000千円）R7当初【継続】 ・相楽東部未来づくりセンターを核に、地域団体やお茶の京都DMO等と連携しながら、ホテルや工場、施設の誘致、自然を生かしたアクティビティ事業等を実施。 ・令和6年度は、 ①より多くの方々に当該エリアを知ってもらえるよう、『京都南部原風景フォトガイド』を新たに作成 ②新たなアクティビティとして、木津川漁協と連携し、『木津川ファミリー釣り体験講座』を開催 ・なお、ジビエについては、農林水産フェスティバルをはじめ、府が開催するイベントに出店いただけるよう案内し、普及に努めているところ。 【移住関連】 ■やましろ移住等加速化事業（2,400千円）R7当初【継続】 ・相楽東部3町村（笠置、和束、南山城）などで人口減少と高齢化が進んでいるが、移住対策が進んでいないことが課題となっている。このような状況を受け、イベント等による各種支援制度のPRや、移住現地ツアー等の開催や、管内市町村等と情報共有・意見交換を実施。 ①令和6年度は大阪市内で移住イベント「京都やましろフェア」を開催。 - 移住・定住情報、観光情報等のPRのほか、特産品の紹介や販売、管内市町村の理解を深めるクイズラリー、クイズラリー参加者の抽選会等を実施し、笠置町を含む山城地域の魅力をPR。 ②移住希望者向けツアーを実施。笠置町を対象としたツアーには5組9名が参加し、先輩移住者との交流等を行った。 ■移住促進住宅整備事業【継続】 ・移住促進特別区域（笠置町全域指定済み）において、移住者に対する空家改修等の支援（最大180万円）、空家所有者に対する家財整理の支援（最大10万円）等を実施。

回	日時	場所	テーマ
98	6月26日	花山児童館 京都市	安心・安全な地域づくりに向けた取組について

参加者の主なご意見
○地域の安心・安全を確保するため、地域の高齢者を巻き込み、啓発チラシの配布や見守り活動に加え、防犯人材育成にも力を入れており、今後も活動を進めていきたい。 ○退職後、地域のために活躍する人材育成に力を入れてほしい。

京都府の対応・施策反映状況
【安心・安全なまちづくり】 ■<u>防犯まちづくり推進事業（4,482千円）R7当初【継続】</u> ・交番・駐在所を核に、自治会、子ども見守り隊、防犯推進委員、自主防災会など、地域の様々な団体が参画したネットワーク（府民協働防犯ステーション）を形成し、地域の安心安全についての課題解決に協働して取り組むことで犯罪のない安心・安全なまちづくりを推進してまいります。 ■<u>おもてなしのまち京都あんしん見守り事業費（5,000千円）【新規】（警察）</u> ・インバウンドなどの影響による繁華街や観光地における治安対策として、防犯カメラの設置による防犯効果と、事案発生時における自転車部隊等による早期の現場到着の実現により、犯罪や交通事故の未然防止・事案発生時の早期解決を図ります。 【人材育成】 ■<u>京都府生涯現役クリエイティブセンター事業（180,000千円）R7当初【継続】</u> ・「京都府生涯現役クリエイティブセンター」において、人生１００年時代を輝き続けるために、働く人の新しい学びを応援し、生涯働き続けることができる人材のみならず、地域活動にも携われる人材を育成します。

回	日時	場所	テーマ
99	7月26日	豊里コミュニティセンター 綾部市	京都府の農業を未来につなぐ取組について

参加者の主なご意見
○京式部を全国に誇るお米とするため、周りの農家が技術面で競い合い、切磋琢磨していきたい。 ○地元市町村と企業と連携し、ICTを活用した万願寺甘とうの生産にも挑戦している。データ分析することで、経験による勘ではなく、数値に基づいた生産が可能になる。 ○国際的な都市である京都から国際レベルのグルテンフリーの素材を発信し、広げていきたい。その一つとして、米粉を使ったワークショップなどを開催していきたい。

京都府の対応・施策反映状況
【京式部】 ■<u>新京都ブランド米「京式部」PR戦略事業（8,680千円）R7当初【継続】</u> ・これまでは地域単位の部会等で研修会を開催し技術研鑽に取り組んでいたが、令和7年2月に府統一の生産者部会を設立することで、京都府全体から優良事例を抽出し、普及させることで、全体のレベルアップを図ります。 【京野菜】 ■<u>京野菜生産加速化事業（103,300千円）R7当初【継続】</u> ・万願寺甘とうをはじめとした京野菜等の産地づくりを図るため、パイプハウスや生産に係る機械等の導入を支援してまいります。 【スマート農業】 ■<u>スマート農林水産業実装チャレンジ事業（45,000千円）R7当初【継続】</u> ・限られた労働力で効率的に経営を維持・拡大するため、スマート機械・設備の導入に必要な経費について支援してまいります。

回	日時	場所	テーマ
100	8月6日	京都府立植物園 京都市	京都府立植物園の次の100年に向けて

参加者の主なご意見
【子ども達への学習機能の強化】 ○植物園の豊かな技術や知識を持った人が、幼稚園や保育園の先生たちのためのワークショップや講座などを開くことで、子ども達が、一番近くにいる大人から植物の魅力を五感で感じ取って心揺さぶられることが大事。 ○子ども達にサイエンスってこんなに面白いんだと興味を持つきっかけになるような植物園を目指すことが必要。 【植物多様性の確保】 ○次の100年に向けて、人間と植物が共存・共栄するために、互いに大切に思い合うことが重要。 ○これだけ多様な植物がある中で、府立植物園に研究機能がないことは課題。

京都府の対応・施策反映状況
■植物園次の100年創生事業費（18,000千円）R7当初【新規】 ・府立植物園の次の100年に向け、子どもたちや若い世代に向けた魅力拡大や学習・研究機能の充実により、更なる飛躍を目指すための各種取組を展開してまいります。 【楽しく学べる学習イベントの開催】 ○子どもたちをはじめとした幅広い世代が、植物の仕組みや植物と昆虫といった生きものとの関わりを五感を使って楽しく学べるワークショップや企画展等を開催し、植物を学んだり、触れ合ったりする機会を創出してまいります。 ○大阪・関西万博に合わせて開催する「LIGHT CYCLES KYOTO」では、若い世代への植物園の魅力を発信してまいります。 【京都植物誌プロジェクトの推進】 ○京都の植物多様性保全に向けて府内の植物調査や生息域外保全などを進め、植物標本「京都植物誌」の制作を推進し、研究機能の基盤づくりを進めてまいります。

回	日時	場所	テーマ
101	8月12日	広小路パーキング 福知山市	子どもの「理想のまち」と大人が「子育てしやすい社会」について

参加者の主なご意見
○イベントのサポートを通じて、子育てのあたたかさを感じた。家族だけでなく、地域のみんなで子どもを育てていくことが重要だと思う。 ○数か所引っ越しを経験したが、その度に子どもをきっかけに、自分のコミュニティが広がった。 ○地域の大人と子どもが関わる機会が増えれば、自分の子どもを知ってくれる人も増え、子育てしていく中での安心感が生まれる。

京都府の対応・施策反映状況
■<u>子育ての楽しさ広げる事業費（京都版ミニ・ミュンヘンの取組拡充）</u> <u>（21,000千円 ※うち一部） R7当初【拡充】</u> ・子どもと若者の交流機会を創出し、若い世代の子ども・子育てに対するポジティブなイメージの拡大を目的に、「京都版ミニ・ミュンヘン」を開催してまいります。 ■<u>子育てにやさしいまちづくり推進交付金（62,000千円） R7当初【継続】</u> ・「まち全体で子どもを見守り支える」まちづくりを進めるため、市町村がエリア内で策定する「子育てにやさしいまちづくり推進計画」をハード・ソフト一体で支援してまいります。

回	日時	場所	テーマ
102	8月25日	京都産業会館 京都市	社会の変化に対応できる人づくり

参加者の主なご意見
○人を育てるためには、自分の背中を見てもらうことと、様々な経験ができる場をつくっていくことが大切だと思う。 ○世代間コミュニケーションが大切。人とのつながりや経験を若い人にどうやって伝えていくかがポイントになる。 ○ある程度自由があり、それを認めてあげることが大切。楽しさや面白さ、何かやってみようという気軽さも大切だと思う。 ○シニアの経験は強みだが、その強みを理解していない方がいる。自分の経験をもとに、スキルや強みを振り返るといった、棚卸をやっていきたい。 ○若い人には若い人の得意が沢山ある。若い人から教えてもらうこともあり、謙虚に学び合いを進めていきたい。

京都府の対応・施策反映状況
■<u>京都府生涯現役クリエイティブセンター事業（180,000千円）R7当初【継続】</u> ・「京都府生涯現役クリエイティブセンター」において、人生100年時代を輝き続けるために、働く人の新しい学びを応援し、生涯働き続けることができる人材のみならず、地域活動にも携われる人材を育成してまいります。

回	日時	場所	テーマ
103	9月4日	みんなのき三室戸こども園 宇治市	子育てしやすい環境づくりについて

参加者の主なご意見
○「親子誰でも通園モデル事業」のような、居場所があることで、ママ同士での情報共有もでき、たわいのない話をしながら自分のストレス発散にもなっている。 ○子どもを連れて気軽に遊びに行ける綺麗な公園があるとうれしい。 ○自分が体調不良で子どもの面倒を見ることができない時、頼れるところがあると良い。 ○様々な子育て支援拠点があるが、16時で終了のところが多い。例えば19時くらいまで開設しているとすごく助かる。 ○保育現場はマンパワーが悩み。例えば、少しでも協力いただければお母さん達に協力いただく仕組みが、複数のこども園でできると良い。

京都府の対応・施策反映状況
【子育て環境の整備】 ■保育や地域の子育て支援充実事業（2,613,192千円）R7当初【継続】 ■保育環境等向上支援事業費（80,000千円）R7当初【継続】 ■地域交響プロジェクト推進費（交付金）（240,000千円）R7当初【継続】 ・引き続き、保育の実施主体である市町村と連携し、多様なニーズに対応できる環境を整備してまいります。 【親子誰でも通園制度】 ■親子誰でも通園支援事業費（25,500千円）R7当初【拡充】 ・「こども誰でも通園制度」等を実施して子育て支援を行う保育所等において、在宅育児中の親を受け入れ、乳幼児との関わり方を学ぶ機会の提供や仲間づくりを行うなど「親育ち」を支援します。また、令和7年度は府域全域に拡大して実施してまいります。

回	日時	場所	テーマ
104	9月29日	JA京都久美浜梨選果場 京丹後市	丹後フルーツの魅力発信と産地の活性化について

参加者の主なご意見
○台湾から梨5,000ケースの発注をいただいたが、カメムシの影響で1,000ケース弱しか出荷できなかった。 ○バイヤーからは丹後地域のフルーツはレベルが高いと評価いただいております、このような評価を若い生産者にもしっかりとフィードバックしていきたい。 ○農業は繁忙期とそうでない時期が分かれており、繁忙期には他産業から労働力を融通してもらえるような仕組みを構築している。 ○作業効率を高めながら若い生産者と一緒に地域を盛り上げていきたい。 ○100年続くフルーツの産地にすることが目標。そのためには、スタッフの確保が重要であり、技能実習生が住み込みで働くことができる住まいの支援があると嬉しい。また、果樹栽培は水が大事であり、良質な水の確保についても協力してほしい。 ○四季があるのが丹後の魅力。四季を通じた丹後の魅力を行政の力を借りながら発信していきたい。

京都府の対応・施策反映状況
【カメムシ対策】 ■<u>農業者等営農継続緊急支援事業（2,000千円）R6補正</u> ・カメムシ類に対する追加の防除や樹勢回復に係る肥料費用支援してまいります。 【果樹支援】 ■<u>京野菜生産加速化事業（103,300千円）R7当初【継続】</u> ・生産に係る果樹棚や出荷調整に係る機械等の導入を支援してまいります。 ■<u>丹後フルーツ産地強化事業（2,150千円）R7当初【継続（一部新規）】</u> ・新たな担い手確保に向けた取組支援として、果樹農家を目指す若者を応援する支援組織「フルーツオーガニゼーション」での研修生の受け入れを支援してまいります。 ・また、早期成園化・作業老職の軽減が可能な梨のジョイント栽培の育苗実証ほ場を設置してまいります。 【労働力確保】 ■<u>農林水産業ボランティア事業（2,000千円）R7当初【継続】</u> ・多様な担い手を確保する為の誘導段階として、農作業ボランティアを募集、派遣し、繁忙期の労働力確保を支援してまいります。 【新規就農者・担い手育成対策】 ・中核的な担い手育成のため、研修から農業開始するまでを一貫して支援してまいります。

回	日時	場所	テーマ
105	10月14日	京丹波町役場	地域で広がる音楽文化について
		京丹波町	

参加者の主なご意見
○吹奏楽をやっていた方は沢山いると思うので、昔やっていた方が集まって演奏できるような環境があると良いと思う。 ○0歳から入場できるコンサートを開催してほしい。 ○若い人だけでなく、色んな世代の方に楽器に触れる機会があると良い。 ○大きなコンサートホールが無くても、お寺などで開催するのは良い考え。さらに、チケット料金も抑えることで、子どもが音楽に触れる機会を作りやすくなる。

京都府の対応・施策反映状況
■Music Fusion in Kyoto 音楽祭事業費（94,000千円）R7当初【継続（一部新規）】 ・大阪・関西万博を契機に、誰もが親しみやすい文化である音楽を軸として、府内一円を音楽で満たす音楽祭を開催してまいります。 ・京都ゆかりの音楽家を招聘したオリジナルオーケストラによるコンサート、府内各地の文化資源を会場とする室内楽コンサートを開催するとともに、府域のこども達に鑑賞型や体験型の公演・指導を実施し、次世代の音楽体験の機会を創出してまいります。

回	日時	場所	テーマ
106	11月10日	城陽五里五里の丘	食による地域活性化について
		城陽市	

参加者の主なご意見
○お茶の京都エリアは非常に魅力的な地域で、お茶にまつわるグルメ、茶畑の風景、文化があり、観光面で強い武器を持っている。様々な形で事業者と連携し、PRを行っていきたい。 ○観光誘客では、地元の方の迎え入れる雰囲気醸成が重要。 ○宇治市を訪れた観光客の周遊が課題。交通基盤は着実に充実しており誘客・周遊の流れを創出していきたい。 ○宇治抹茶の需要は高いが、供給が追いついていない状況。生産能力を高めることはすぐにはできないため、府からの補助などで供給能力の強化を図っていく必要がある。 ○玉露や煎茶は需要が落ち込んでおり、急須で飲むお茶の魅力を広げる必要がある。 ○生産する野菜のブランド化のため、パッケージを変えるなどの工夫を行っている。また、近年は資材高騰、人件費上昇の中で、いかにして良いものを提供するか、悩みながら取り組んでいる。

京都府の対応・施策反映状況
【地域振興】 ■<u>京やましろ産食材を通じた地域活性化事業（3,308千円）R7当初【継続】</u> ・宇治茶をはじめ、京都・山城地域の「食」が一堂に会するグルメイベント「宇治茶・山城ごちそうフェスタ」を引き続き開催することで、お茶の京都エリアの魅力をPRしてまいります。 【宇治茶】 ■<u>大阪・関西万博やましろの魅力発信事業（1,000千円）R7当初【新規】</u> ・京都駅情報発信拠点における魅力発信ブース等、万博関連イベントにおいて、宇治茶等、食をはじめとした山城地域の魅力を国内外へ発信してまいります。 ■<u>宇治茶の魅力体験イベント事業（10,000千円）R7当初【新規】</u> ・宇治茶の生産地である山城地域で宇治茶の魅力を体感してもらうため、茶園見学や茶摘み体験等を組み込んだツアーを造成するとともに、宇治茶をはじめとした山城地域の「食」をテーマとしたイベントと連携し、茶会を開催するなど、山城地域の茶文化を支える茶人、茶商、茶の生産者等の茶業関係者、府、市町村等の関係団体が一体となり、宇治茶に関する多様な体験機会を提供してまいります。 ■<u>宇治茶世界遺産登録推進戦略事業（11,437千円）R7年度当初【継続】</u> ・山城地域の茶生産が培ってきた景観の価値を高めるため、「宇治茶の文化的景観」の世界遺産登録推進の取組を実施。事業の中で、地元住民の機運醸成のため、地域フォーラムや文化講座を開催してまいります。 ■<u>きょうとまるごとお茶の博覧会スタンプラリー実施事業（4,000千円）R6補正【新規】</u> ・令和7年度に開催する大阪・関西万博に合わせて開催するきょうとまるごとお茶の博覧会では、府内各地でお茶にまつわる様々なイベントを開催するとともに、府内周遊とイベント同士をつなぐためのスタンプラリーを実施してまいります。 ■<u>茶業振興対策事業（40,086千円）R7当初【継続】</u> ■<u>宇治茶産地体制強化事業（12,000千円）R7当初【継続】</u> 需要の高いてん茶生産の支援のため、被覆棚整備支援や改植支援を実施してまいります。 ■<u>宇治茶ブランド普及拡大事業（4,200千円）R7当初【継続】</u> ・ボトリングティー京都宇治玉露「玉兎」の販売促進をとおして、原料としての宇治玉露の需要拡大とリーフとしての玉露等の消費を拡大してまいります。

回	日時	場所	テーマ
107	11月23日	学校法人大和学園 京都市	婚活に積極的に取り組める社会に向けて

参加者の主なご意見
○女性としては仕事のキャリアを考えるとマイナスに感じる面もある。妊娠出産による休職などの不安が解消されると、婚活に踏み込める方も増えるのではないかと。 ○結婚したいと思ったときに頼れる場所があれば嬉しい。また行政がサポートすることで安心感もある。 ○行政が婚活サポートを行っていることを広く周知することで、利用者も増えるのではないかと。 ○未婚率や出生率、子育てに係るお金などマイナスな数字ばかり発信するのではなく、プラスのイメージも発信してほしい。 ○ブライダル業界としては、結婚式や披露宴まで行ってほしい。そういうカップルを見ることが、結婚したいと思う方も増えるのではないかと。 ○ブライダル業界では出会いの場を提供する企業も増えているが、ブライダル業界だけでなく、多くの企業にそういった取り組みを進めてほしい。

京都府の対応・施策反映状況
【婚活関連】 ■「<u>「出会いが京都」きょうと婚活応援センター事業費（27,800千円）R7当初【継続】</u> ■<u>きょうと婚活応援強化事業費（18,000千円）R7当初【拡充】</u> ・婚活マスター（ボランティア）や婚活支援団体、民間企業等と連携し、結婚を希望する独身男女の出会いから交際、結婚までをワンストップで支援するとともに、婚活に前向きに取り組める社会的機運を醸成するための総合的な婚活支援拠点として「きょうと婚活応援センター」を運営してまいります。 ・令和7年度は、従来から実施している地域スポットや体験型婚活イベントの開催やAIマッチングシステムの活用に加え、結婚や婚活にポジティブな環境をつくり、結婚に前向きに取り組む方を応援するため、センター開設10周年記念の「婚活フェス」や若手社員向け婚活イベントを開催してまいります。 ・企業・団体が主体となる婚活支援を推進するための企業掘り起こしや企業間マッチングを実施してまいります。 【その他】 ■<u>子育ての楽しさ広げる事業費（京都版ミニ・ミュンヘンの取組拡充）</u> <u>（21,000千円 ※うち一部）R7当初【拡充】</u> ・子どもと若者の交流機会を創出し、若い世代の子ども・子育てに対するポジティブなイメージの拡大を目的に、「京都版ミニ・ミュンヘン」を開催してまいります。

回	日時	場所	テーマ
108	11月23日	あやべ・日東精工アリーナ 綾部市	お茶による地域活性化について

参加者の主なご意見
○お茶生産に携わる担い手が減少しており、若者の就農者確保のためIターンなどで呼び込みを図っている。 ○先人達がつないできた中丹茶をしっかりとつないでいきたい。 ○ほうじ茶から抹茶まで楽しめるイベントだった。来年も楽しみにしている。 ○普段抹茶を飲む機会がなかったので、イベントで味わうことができて良かった。 ○お茶をテーマに高校生とコラボすることで自分の刺激にもなった。 ○ブランディングして販売することで、地域の魅力を知ってもらうことにつながった。

京都府の対応・施策反映状況
【担い手育成】 ・農業大学校の茶業経営コースや担い手養成実践農場の展開に加え、令和元年に設立した宇治茶実践型学舎により、新たな担い手確保と育成を実施してまいります。 ■農林水産業ボランティア事業（2,000千円）R7当初【継続】 ・多様な担い手を確保する為の誘導段階として、農作業ボランティアを募集、派遣し、繁忙期の労働力確保を支援してまいります。 【観光】 ■きょうとまるごとお茶の博覧会スタンプラリー実施事業（4,000千円）R6補正【新規】 ・令和7年度に開催する大阪・関西万博に合わせて開催するきょうとまるごとお茶の博覧会では、府内各地でお茶にまつわる様々なイベントを開催するとともに、府内周遊とイベント同士をつなぐためのスタンプラリーを実施してまいります。 ■きょうとまるごとお茶の博覧会開催費（82,000千円）R7当初【新規】 ・京都の茶文化を支える茶人や茶商、茶の生産者から茶器や茶道具、茶菓子の職人までが一緒になって、万博を契機に京都を訪れる人々に京都の茶文化を発信してまいります。（「中丹OCHA EXPO」等の開催） 【茶業振興】 ■茶業振興対策事業（40,086千円）R7当初【継続】 ■宇治茶産地体制強化事業（12,000千円）R7当初【継続】 需要の高いてん茶生産の支援のため、被覆棚整備支援や改植支援を実施してまいります。 ■宇治茶ブランド普及拡大事業（4,200千円）R7当初【継続】 ・ボトリングティー京都宇治玉露「玉兎」の販売促進をとおして、原料としての宇治玉露の需要拡大とリーフとしての玉露等の消費を拡大してまいります。

回	日時	場所	テーマ
109	12月1日	日図デザイン美術館 京都市	障害者芸術の振興について

参加者の主なご意見
○「京都とっておきの芸術祭」を目標に制作活動を行っている方は多いので、これからも継続してほしい。 ○制作活動を通して自分を表現できたことが楽しかった。また、多くの方に関わっていただき感謝している。 ○個性の強い方が住みやすい街になってほしい。 ○長期入院をした経験から、精神科の病棟を全て開放病棟にしてほしい。 ○「京都とっておきの芸術祭」に詩の部門を創設してほしい。 ○応募作品を見て「生きる面白さ」を感じることができ、元気づけられた。 ○企業に障害者が制作した作品を展示してもらうことで、芸術の街としての京都の魅力を世界に発信できるのではないか。

京都府の対応・施策反映状況
■自立型障害者アート推進事業（障害者文化芸術推進事業）（2,800千円）R7当初【継続】 ・京都の歴史と文化を基盤として、「京都とっておきの芸術祭」の開催等を通じて障害者の芸術紹介、育成を行い、障害者の文化芸術活動の可能性を広げ、障害者の社会参加の促進を図ることを目的としています。 ・「アートと障害のアーカイブ・京都」において、デジタルで作品を記録、保存するサイトを運営。企業等から作品展示を希望される場合は、当サイトから作品を選定いただき、原画の展示を行ってまいります。 ・京都とっておきの芸術祭へ出展作品の中から作品選定し、バナー（原画ではない）を作成し、障害のある方の作品展示希望があった場合、無償貸出を行ってまいります。

回	日時	場所	テーマ
110	12月7日	西駅交流センター 舞鶴市	宮津線の次の100年に向けて

参加者の主なご意見
○丹鉄は生まれた時からあり、なくてはならない存在。 ○車窓からの景色も魅力的であり、みんなに良さを伝えていきたい。 ○SNSなどを活用して車両のリピーターを増やす取り組みが重要。例えば、オール京都で盛り上げていく手法として、スタンプラリーなどを実施してはどうか。 ○人口減少が続くと駅存続にも関わる。駅周辺に賑わいを創出することが地域活性化に繋がる重要なポイントであり、与謝野駅100周年を機に盛り上げていきたい。

京都府の対応・施策反映状況
■地域公共交通再構築事業費（680,684千円）R6.2補正＋R7当初【継続】 ■地域公共交通利用促進事業（66,000千円）R6.2補正【新規】 ・令和7年度以降の新たな契約に基づく京都丹後鉄道の運行を踏まえ、引き続き施設整備については計画的に実施し地域の足を確保していくとともに、駅周辺の賑わい創出についても沿線自治体と連携して取り組んでまいります。 ・利用促進については、沿線自治体とともに観光列車の運行やスタンプラリーなど、引き続き地域が盛り上がる取組を実施していき、SNS等を活用したPRによる誘客促進を図ってまいります。